

県道佐野行田線 (大手町工区) 電線共同溝事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・佐野市と館林市、行田市等を結ぶ幹線道路。災害時も通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、歩きづらい。(地元住民)

事業前

- ◆ 電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。
- ◆ 災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されます。
- ◆ 災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

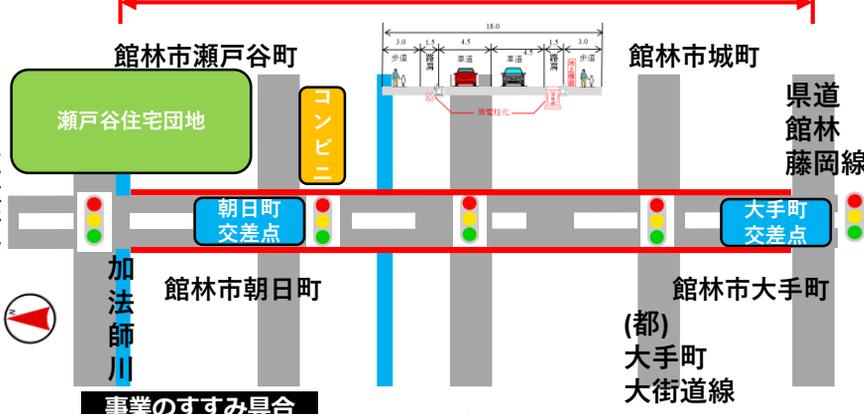
- 事業箇所：館林市大手町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 1,240m
- 事業期間：令和5年度～



事業位置
館林市

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

計画延長 620m (電線共同溝整備延長 1,240m)



今、何をしているか

令和6年度は、街路樹の撤去と支障物件の移転を行います。



事業開始 ●

● 事業完了